

地域女性活躍推進事業【佐賀県佐賀市】

個別事業費

4,519 千円

交付金額

1,800 千円

地域の実情と課題

- ・地域活動や理工系分野で活躍する女性の割合が少なく、女性自身がロールモデルに出会う機会が少ない。
- ・自治会長に占める女性の割合は4.7%(全国平均を下回っている)

事業の特徴

- ・自治会協議会と共催。参加者を男女ほぼ同数とする。
- ・意思決定の場に女性が参画することが組織にとって強みになるという意識を醸成する。
- ・女性が様々な分野にチャレンジしていくことで、多様な視点や発想が加わり活力ある生き生きとした社会の実現を目指す。

事業の効果

- ・地域活動において女性活躍推進が重要であるという意識を醸成することができた。
- ・キャリアアップについて、より具体的にイメージしてもらうことができた。

目的・目標

【目的】

- ・自治会活動において、女性の活躍を促進する意識を醸成する。
- ・子育て世代やそれ以前の世代の女性が、キャリアアップの実現に向けて具体的なビジョンを持ち、行動に移すことができるようにするための取組を行う。

【事業目標】

- ・参加者数 182人(目標200人)
- ・女性活躍推進を重要と捉える参加者の割合 81.6%(目標80%)

連携団体

- ・佐賀市自治会協議会(32団体が加盟)
- ・佐賀市男女共同参画推進協賛事業所(約260事業所)
- ・女性の活躍推進佐賀県会議

今後の課題

- ・結婚や出産を機に女性が非正規雇用化し、家事・育児に注力することが前提というアンコンシャスバイアスが存在する。
- ・女性自身のアンコンシャスバイアスを払しょくし、キャリアアップの実現に向けて具体的なビジョンを持ち、行動に移すことができるようにするための取組を行う。

自治会等における男女共同参画のためのシンポジウム

～未来の佐賀市の地域づくりを語る会～

開催日：令和6年8月1日 主催：佐賀市自治会協議会・佐賀市

参加者：自治会長など地域団体の役員123人（女性55人、男性68人）。

自治会協議会の声掛けにより全地区から参加。

内 容： **ミニ講座** **ワークショップ**

国立女性教育会館理事長 萩原なつ子さんが「“誰一人取り残さない“ジェンダー平等で多様性のある地域づくり」をテーマに、若者には自分の価値観を押し付けて、未来世代の可能性を奪わないことが大事とのミニ講座を実施。ワークショップでは、自治会に女性や若者が参画しやすくなるためにはどうしたらよいかについて意見を出し合った。

女性活躍推進セミナー

～探せ！私の自分らしさ～

開催日：令和6年11月24日 参加者：大学生～20代の女性 16人

内 容： **トークセッション** **ワークショップ**

キャリアを自身で切り開いてきたゲストによる講演のほか、参加者自身のライフイベント（就職、結婚、出産、ジョブチェンジ）を踏まえたキャリアアップについて具体的にイメージするワークショップを開催。

～新しいスタイルで理想の働きかたを叶える～

開催日：令和7年2月8日 参加者：佐賀市内在住または勤務する男女 43人

内 容： **スペシャルトーク** **トークセッション** **ワークショップ**

参加者の得意を活かしたキャリアの形成についての講演のほか、参加者自身のキャリア形成についての理解と意欲を深めるワークショップを開催。

交流会参加者以外にも女性活躍について啓発を行うために広報誌を作成